

## 2 個別事業評価調書

団体名：笠置町

事業名	教育委員会ネットワークシステム整備事業				
事業の概要	当町で比較的電算ネットワーク整備の遅れている教育委員会の電算環境整備を行いました。				
	目標時期	平成17年度			
	総事業費	2,251	本年度事業費	2,251	交付金交付額
事業の必要性	現在導入されている教育委員会の電算システム環境は、職員間の電子伝達にもかなりの時間を要する状態であり、事務効率の観点等により、早急に改善しなければならない状況にありました。				
事業の有効性	行政事務において現在、事務効率の向上、職員間の迅速な伝達を行うに当たり電算の使用が前提であり、また帳票等管理・出力をはじめとした電算利用頻度からも整備の必然性が高まっています。 また、今年度事業である高速インターネットアクセス基盤整備事業と相まって電算整備を行うことで、当町の総合的な電算ネットワークシステムの向上が図られ、事務効率の向上に繋がります。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 電算の整備を行ったことで、行政間のスムーズな電子情報のやりとりが可能となり、結果、今後実施予定である相楽東部3町村によって行われる教育委員会広域連携業務について、他町村とのスムーズな事務連携を図れるよう備えることができました。				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果 様々な行事を行っている教育委員会の電算整備を行ったことにより、事務処理の効率化が図られました。				